



半井桃水(1861~1926)



樋口一葉(1872~1896)

女史は戀を歌ふ人で
實行し得る人ではない
女史は戀を理想化せしめたいと力める人で
同時に理想の戀は
歌ふべくして實現せぬといふ事を
知りぬいて居る人である

半井桃水『女史の日記に就て』『女学世界』大正元年8月より

君はとしの頃卅斗にやおはすらん
(三十ばかり)
姿形など取立てしるし置んもいと無禮なれど
我が思ふ所のまゝをかくになん
色いと白く面ておだやかに少し笑ミ給へるさま
誠に三才の童子もなつくべくこそ覺ゆれ
大け八世の人にすぐれて高く肉豊かにこえ給へば
まことに見上る様になん

樋口『葉日記』若葉かげ『明治24年4月15日』より

特別展 没後100年

師の君

半井桃水と 樋口一葉

令和8年10月24日(土)~12月20日(日)

開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)
休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)
※展示替えのため10月19日(月)~23日(金)、
12月21日(月)~27日(日)は休館いたします
※ご来館の前にホームページ等で最新情報をご確認ください

入場料 一般300円(200円)、小中高生100円(50円)
※()内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、
特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者の方は無料
主催 公益財団法人 台東区芸術文化財団